

# ひびき

教育目標「なかよく かしくく たくましく」  
一人一人を大切にする「風通し」のよい学校—  
多治見市立共栄小学校R5.7.1

## 「地域とともにある学校づくり」を進めていきます!

共栄小学校では、令和6年度よりコミュニティ・スクールとしてのスタートを予定しています。

先日の学校評議員会でも、共栄小のコミュニティ・スクール化について提案し、同意をいただきました。また、今年度を準備期間として、学校評議員会を、そのための組織としていくことも確認しました。

来年度に向けて、少しずつ保護者や地域の皆様にコミュニティ・スクールとは何のことなのか、どんなことをしていくのか、どのように変わっていくのか等、様々な場でお伝えしていきたいと思っています。



### コミュニティ・スクールって何?

コミュニティ・スクールとは、保護者や地域住民の代表の方々からつくられる学校運営協議会が設けられた学校のことをいいます。ここでは、学校運営の基本方針を認めたり、学校の教育活動などについて意見をだしてもらったりします。学校は、こうした保護者や地域の皆様の意見を反映させながら学校を運営していきます。さらには、学校・保護者・地域の三者で、子どもたちの成長に必要なことを考え、それに基づいた活動を進めていきます。

つまり、コミュニティ・スクールは、学校と保護者、地域の皆様が、ともに知恵を出し合い、一緒に子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

現在、多治見市の13の小学校のうち10校がコミュニティ・スクールとなっています。



コミュニティ・スクールになるからといって学校が大きく変わるわけではありません。

共栄小学校では、これまでも保護者や地域の皆様に協力していただき、子どもの安全を守る活動や学習体験などの活動を設定していただいています。こうした今まで行ってきたことを大切に、さらに充実させていけたらと思っています。「無理なく」「持続可能なかたち」で地域に根ざした学校づくりを目指したいです。

